特別賞

質問内容
①思い出に残る仕事
②受賞にあたり

■堀内靖康
前・札幌市水道局給水部給水課長

①東日本大震災では仙台市に応援隊として派遣され、仙台市の方々、全国からの応援隊の方々で一丸となって懸命に対応したことが忘れられません。連携と情報共有、臨機な対応など、災害対応は勿論のこと、仕事を進めるうえで大切なことを身をもって経験させていただきました。

②このたびは栄えある特別賞をいただき大変光栄に存じます。約30年間水道事業に携わらせていただき、その間、日本水道協会の各種委員会を含め、多くの方々にご支援とご指導をいただきました。本当に感謝しかございません。今後も人の繋がり「縁」を大切にし、札幌市職員として頑張って参りますので、引き続きよろしくお願いいたします。

（現・札幌市南区土木部長）

■増田徹
前・足寄町役場建設課長（水道課長）

①思い出に残る仕事としては、私は昭和60年4月に役場に入り、翌年の昭和61年6月に、上水道配水本管の漏水事故（石綿管φ250上水道内配水管最大口径）があり、足寄町水道事業が始まって以来の全戸断水を経験しました。午後2時頃から始まり、午後10時頃までの断水でしたが、町内の全水道事業者に復旧にあたっていただき、8時間の断水ですみましたが、次の日に断水の2次災害としてさらに別の箇所で漏水があり、夜中まで復旧作業をしたことです。また、足寄町で私が携わった施設は、当時上水道1施設、簡易水道6施設（現在は、簡易水道6施設を統合して1つの簡易水道）、専用水道1施設、その他の施設として（営農用水道等）13施設があり、漏水事故等、多くの経験をさせていただきました。多くの経験は、私の水道マンとしての心構えを植え付けせてくれる事となり、事故に対する対応やお客様に対する対応をいかに的確・迅速におこなうことが、必要であると認識し仕事を行ってきました。

②この度は、栄えある「特別賞」を頂き大変光栄に存じます。このような賞を受賞することができたのも、ひとえに私を育てていただいた先輩の方々、また私を支えていただいた町長始め、諸先輩、同僚の皆様、家族のおかげだと感謝しています。

（現・足寄町役場建設課建設室管理都市計画担当）

■尾関元
前・東京都水道局企画調整担当部長

①初めて本庁課長として報道担当・危機管理担当を拝命した際に、東日本大震災に見舞われました。東京の被害状況把握、被災地への応援派遣などに追われる中で放射能汚染による乳児に対する飲用制限を行うことになりました。いずれも初めての経験で無我夢中で対応する中で、多くの経験豊かな先輩方の余裕ある態度に救われました。

②このたびは、栄えある賞をいただき大変光栄です。これまでご支援、ご指導いただきました多くの皆様にこの場を借りて御礼申し上げます。急展開する社会のデジタル化の流れからは、水道界も逃れられません。清浄・豊富・低廉の精神を失わず、変化していくことができるように、微力ながら力を尽くしてまいりたいと存じます。

（現・東京都デジタルサービス局企画調整担当部長）

■佐藤清和
前・東京都水道局浄水部長

①都は、四半世紀をかけて利根川水系の浄水場に高度浄水処理の全量導入を果たしました。その過程で担当した整備計画の策定や現場での施工監督が強く印象に残っています。また、都が水源を求めた八ッ場ダム建設事業において、事業費の大幅増額を伴う基本計画変更に向けての都議会や国等との調整は辛かった仕事の一つです。計画や現場等で苦労した水道施設は着々と完成を迎えており、技術者冥利に尽きます。

②この度は、栄誉ある賞をいただき感謝申し上げます。水道人生の途に就いた浄水場で、技術面はさることながら、何よりもお客さまのために仕事をするという精神を叩き込まれ、今でも心の拠り所になっています。これまで支えていただいた上司や同僚の皆さまに改めて感謝の意を表しますとともに、受賞を励みに、水道界に少しでも貢献できるよう、精進を一層して参りたいと存じます。

（現・水道マッピングシステム代表取締役副社長）

■小山伸樹
前・東京都水道局多摩水道改革推進本部調整部長

①仲間とともに多摩地区水道の広域化を進めたことです。市町への事務委託を解消して完全な都営一元化を実現したこと、広域的視点に立って水道管路のネットワーク形成や施設の更新を進めたこと、事務を不断に見直して効率化を図ったこと、市や町・関係機関との連携を強化して、防災体制や広報活動を充実させたことなどがあります。

②いま、世の中は少子高齢化や技術革新、環境問題への関心の高まりなどによって、変化の速度が一層増しています。水道に対しても更に様々な対応が求められることでしょう。関係各位には厳しい課題に直面することもあると思いますが、一致結束して、誰もが元気で御活躍されることを願っております。水道界の更なる発展を確信しています。

（現・㈱東京エイドセンター法人営業部長）

■細川善樹
前・東京都水道局立川給水管理事務所長

①東日本大震災の時、広報担当として発災直後、被災地支援、放射性物質検出、計画停電など、毎日次々と課題が噴出して対応に追われたことが思い出されます。その後は「安全でおいしい東京水のPR」、「職員のモチベーションアップ」を常に心がけて取組んできました。

②このたびは、栄えある賞をいただき、誠に光栄に存じます。これまでご支援、ご指導いただいた皆さまにこの場をお借りして感謝申し上げます。期せずして水道から離れましたが、いつまでも「安全でおいしい水道水」の応援団でいたいと思っています。

（現・東京都中央卸売市場大田市場）

■山上徳一
前・東京都水道局経理部管理課長（統括課長）

①昭和54年に東京都水道局に採用されてメータ検針、未納徴収など現場業務で鍛えられ、契約、経理、システム、人事労務事務など、水道の事務屋として幅広く仕事を経験させてもらいました。転勤の都度、失敗や成功を繰り返しながら、先輩方からの叱咤激励、手厚い指導や厳しい洗礼を受けた事が、今思えは、私の長い水道人生を支えてくれたエネルギー源だったのだと思い、多くの先輩方に感謝を申し上げます。

②この度は栄誉ある賞を賜り大変光栄に存じます。これもひとえにこれまでご指導ご鞭撻を賜りました多くの皆さま方のおかげと心から感謝し、この場を借りて御礼申し上げます。今後、水道事業は益々困難な課題への対応を求められますが、私も微力ではありますが、これからも水道に関わって参りますので、よろしくお願い申し上げます。

（現・水道マッピングシステム総務部長）

■宍戸由範
前・横浜市水道局施設部長

①平成4年に横浜市に入庁して以来、水道システム全般を経験させていただきました。大口径バルブの漏水対応で13万世帯の配水ブロックを系統切替して約2年の歳月をかけて局一丸となって修理をやり遂げたこと、将来の横浜市の水道システムを検討する際に、近隣の水道事業者と連携して広域的な視点で再構築の議論を進めたこと、などが印象に残っています。

②このたびは、栄えある賞をいただき大変光栄に存じます。水道事業体をはじめ、これまで一緒に仕事をさせていただいた水道界の皆様に心より感謝申し上げます。現在は、土木事務所長として水道界から見たら蛇口の先の世界から、これまでと違った視点で水道事業を見ることができ、良い経験となっています。引き続きよろしくお願いいたします。

（現・横浜市栄土木事務所長）

■佐藤浩文
前・神奈川県企業庁厚木水道営業所副所長

①県営水道一筋36年間、管路設備の維持管理や浄水場運用管理などの仕事に携わってきました。特に、管路の漏水事故や浄水場の水質事故対応などの危機管理事象に対し、ライフラインとしての水道事業を担っているという気概を職員一人一人から感じることができ、その中で仲間の一員として携われたことを誇りに思っています。

②このたびは栄えある賞を頂き、光栄に存じます。これまでご支援、ご指導頂いた皆様に感謝申し上げます。今後水道事業の課題として、水需要の減少に伴う施設の再構築や災害への対応力の強化など困難なものがありますが、水道人の英知を結集され安全・安心な水の安定供給実現に係る皆様方のご活躍とご健勝を祈念しております。

（現・日本水道協会東京検査事業所）

■松嵜尚志
前・神奈川県企業庁企業局寒川浄水場長

①管路更新工事など設計監督等の現場業務です。1本でも多くの老朽管を更新してきたことを誇りに感じています。上水道等のインフラは現場による地道な作業のうえに安全安心が維持できると考えます。

②栄誉ある賞を頂き恐縮です。先輩や同僚と取り組んできた業務の成果だと考えております。これからも現業務を通して水道事業の発展に貢献したいと思います。

（現・前澤工業横浜支店）

■志村誠彦
前・流山市上下水道事業管理者

①平成25年9月に水道事業管理者に着任し、大口水道利用者の地下水専用水道移行対策に取り組みました。この対策として、平成27年4月から従量料金1月100立方㍍を超える単価を従前の400円／立方㍍から310円／立方㍍とし、平成29年4月から大口水道利用者の従量料金1月500立方㍍を超える単価を310円／立方㍍から200円／立方㍍とする、大幅な料金改定（値下げ）を行った。その結果として、地下水利用専用水道への移行がなくなり、水道経営が良好となった。

②このたびは、栄えある賞をいただき誠にありがとうございます。これまで多くの皆様からご支援・ご指導をいただいたこと、心から感謝申し上げます。今後の水道事業も、事業に携わる皆様の新たな発想により、次の世代の水道を切り開いていって下さることを確信しています。今後の皆様のご活躍を祈念いたします。

■塚田浩
前・宇都宮市上下水道局上下水道事業管理者

①就任時に管工事組合理事長との意見交換で、給水装置工事の申請書式・手続きが事業体で異なり負担が重いと伺い、将来目標に電子申請・業務共同化を掲げ申請書式統一に取り組み今年度に県内事業体で統一される運びとなったことが一番の思い出です。取り組みにあたり、特段のご指導・ご助言、業務支援を頂いた給水財団石飛専務理事をはじめ、日水協県支部会員、管工事業協同組合役員、全管連粕谷専務理事に改めてお礼を申し上げます。

②この度は、大変栄誉ある賞を頂き誠に有難うございます。これまでご支援・ご協力を頂いた皆様に深く感謝申し上げます。昨今、事業環境は大きく変化しておりますが、関係者の皆様が一丸となり課題に立ち向かい、これまで築きあげた信頼される水道を次世代に確実に引き継いで頂きたいと願っております。

（現・宇都宮市土地開発公社理事長）

■大貫三子男
前・日本水道協会総務部長

①昭和62年に採用され、様々な部署を経験しました。例えば、阪神・淡路大震災における応援活動の教訓を元に「地震等緊急時対応に関する報告書」を作成した際には、報告書の位置づけ、応援要請、費用負担等の様々な意見を、半年という短期間で取りまとめることとなりましたが、委員の皆さんの熱意が実を結び、現在は「地震等緊急時対応の手引き」として水道界の相互応援ルールとなっています。会員・関係者の皆様と数々の仕事ができたことは、大変幸運なことだと感じています。

②このたびは栄えある「特別賞」をいただき大変光栄に存じます。これもひとえに、ご指導いただきました諸先輩や支えていただいた同僚そして後輩の皆さまのおかげであると感謝いたしております。水道界は省庁移管という大きな変化の時を迎えておりますが、水道の使命は変わりません。今後の水道界の発展を祈念いたします。

（現・㈱協友）

■玉野井晃
前・日本水道協会調査部長

①全国地震等緊急時訓練の一環として行いました平成30年度応援訓練になります。本訓練は水道事業者間の連携強化、災害対応能力の向上を図ることを目的に、平成30年11月6日から7日の2日間にわたり静岡市において実施いたしました。7地方支部から多くの水道事業体が参加し、参集から帰還までの流れを確認するとともに、各地方支部による災害対策について情報共有を図りました。

②このたびは、栄誉ある賞をいただくこととなり深く感謝申し上げますとともに、これまでご指導、ご支援いただきました皆様方に心からお礼申し上げます。水道事業は多くの課題が山積し、今後ますます厳しい環境を迎えることとなりますが、関係者の皆様方のご活躍とご健勝を祈念しております。

（現・㈱協友）

■祖父江隆人
前・名古屋市上下水道局技術本部計画部技術管理課長

①昭和60年に入局以来、長く上下水道事業に関わる仕事に従事してまいりました。特に、外郭団体である名古屋上下水道総合サービスでは、株式会社化とともに他都市支援の業務の創出にかかわることができました。中小都市の財政面、人材面での経営環境の厳しさ、支援業務の必要性を実感し、他都市の皆さんとともに議論を重ねたことは貴重な経験になりました。

②この度は、栄誉ある賞をいただき、誠にありがとうございます。これも、これまでご指導、ご鞭撻をいただきました皆様のおかげと感謝しております。今後も水道事業は、人口減少、施設の老朽化など課題も多く、引き続き厳しい状況が続くものと思いますが、皆さまのご活躍で益々発展されていくことを期待しております。

■早川裕之
前・名古屋市上下水道局管路部配水課長

①平成7年1月に発生した阪神・淡路大震災の応急復旧隊の一員として神戸市に派遣され、大規模な被害を受けた神戸の街を目の当たりにしたこと、そして微力ながら水道の復旧に携われたことが記憶に残っています。

②昭和60年に入局し、昭和、平成、令和の3時代を通して38年間水道の仕事に携わってきました。その間水道を取り巻く環境は大きく変わりましたが、良き仲間に恵まれ充実した日々を過ごすことができました。この度特別賞を受賞することとなり、これまで関わったすべての皆様に感謝申し上げます。

（現・大成機工名古屋支店）

■尾平淳一
前・愛知県企業庁東三河水道事務所長

①携わってきた工事のなかで、思い出に残っているのは浄水場の監視制御設備更新工事において、浄水場専用にシステム化されたDCS（Distributed Control System）を使わず、PLC（Programmable Logic Controller）を基本とした汎用機器のみで監視制御システムを構築したことです。30万立方㍍／日規模の浄水場では例がなく、試行錯誤を繰り返しながら完成させたのはよい経験となりました。

②このたびは、栄えある特別賞をいただき大変光栄に存じます。ひとえに多くの皆さまのご指導、ご支援によるものと心より感謝申し上げます。水道事業を取り巻く環境は非常に厳しく、課題も山積しておりますが、水道を携わる方々の叡智により、今後も水道事業が持続的に発展していくことを祈念しております。

（現・中日本建設コンサルタント技術顧問）

■梅村年幸
前・愛知県企業庁水質試験所長

①浄水場で勤務していた時に、浄水場を見学された小学生や中学生から水道の仕事に対するお礼や励ましの手紙をたくさん頂きました。大いに励まされるとともに、よりいっそう仕事に向かう気持ちが高められたことが思い出されます。生活に欠かせない水というものにかかわる仕事に携わることができたことに感謝しています。

②このたびは、栄えある賞をいただき光栄に存じます。これまでご支援、協力いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。今後も微力ながら水道にかかわる仕事に携わってまいりますので、よろしくお願いいたします。

（現・中部新泉産業）

■宇野和峰
前・愛知県企業庁愛知用水水道事務所長

①平成の市町村大合併に伴う水道事業者の受水廃止に係る仕事です。給水対象から水道事業者が脱退することは全く考えていませんでしたので、何もかも初めての経験でした。行政部局在籍中は広域的水道整備計画の変更を、企業庁では関係者との調整や受水廃止に伴う負担金の算定などを行こない、2つの部局に跨がって仕事をやり通せたことは貴重な財産になりました。

②このたびは栄えある賞をいただき、誠に光栄に存じます。これもひとえにご指導をいただいた諸先輩や支えていただいた同僚や後輩の皆様のおかげであり心から感謝申し上げます。これからの水道にとって特に人材確保は重要であると感じています。当面は人材育成にご苦労されると思いますが、サスティナブルな水道事業を目指して、益々発展されますことを心から祈念しております。

（現・愛知時計電機名古屋支店）

■大藤毅
前・愛知県企業庁尾張水道事務所長

①パソコンも電算システムも無い時代、手書きの工事設計書の作成に苦労しました。漏水対応で水の持つエネルギーとその怖さを知り、渇水対応や震災応援では水のありがたさを痛感しました。また、専ら用水供給事業者の職員として過ごす中、短いながらも県の水道行政部署に在籍し、国や市町村水道事業者等と関われたことは視野を広める貴重な経験でした。

②このたびは栄えある賞をいただき、大変光栄に存じます。至らぬ点も多々あったと思いますが、これも一重に在職中にお付き合いいただいた上司、同僚、後輩の皆様のおかげであり、心より感謝申し上げます。今後も水道と関わってまいりますので微力ながらもお役に立てればと考えております。

（現・NTCコンサルタンツ中部支社顧問）

■中出賢一
前・多気町上下水道課参事兼課長

①多気町に奉職し、始めて配属されたのが水道課で、当時は町内全域で水道施設整備の真最中でした。旧簡易水道施設の維持管理に始まり、検針や漏水対応、そして係長昇格と同時に経理経営にも携わってきました。課長となって老朽化による改修・耐震事業に取り組み上下水道料金改定を実施するため奔走したことが思い出です。

②この度は栄えある賞をいただき、水道人生の締めくくりとして至極の思いです。これまでたくさんの方々にご指導ご支援を頂いたこと、そして私を支えてくれた後輩たちに大変感謝しています。皆様には、これからも持続可能な水道事業を目指し、大いに活躍されますよう願っています。本当にありがとうございました。

（現・三重県下水道公社）

■山内輝男
前・菊川市生活環境部水道課長

①平成8年度に水道課に移動し、主に水道管の修理及び施設の維持管理の業務に従事し、一度他部局に移動をしましたが平成22年度より改めて水道課に移動し、各種計画の策定や、2回の水道料金等審議会を開催してきました。水道行政に携わり、様々な方々と一緒に働けた事が大きな財産となっています。

②この度は、栄えある特別賞をいただき大変光栄

次頁に続く